

令和3年度「岐阜保育研究会」のご案内

岐阜聖徳学園大学短期大学部幼児教育学科

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、学生の実習受け入れを始め、本学の教育に多大なるご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、当学科におきまして、地域の保育関係の諸先生方ならびに保護者の方々とともによりよい保育について考えてまいりました「岐阜保育研究会」ですが、今年度は「保育者のための実践講座」ならびに「岐阜保育研究会大会（第21回）」を、持続可能な開発目標（SDGs）を意識しながら開催させていただきます。開催日時等、下記のとおりご案内申し上げます、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

令和3年度「保育者のための実践講座」

地域の保育関係者の方々とともに保育を考える講座を今年度は、裏面の通り9講座を開催いたします。保育士、幼稚園教諭の先生方を始めとして、保育にかかわる方々を対象とした講座です。（参加費等は必要ございません。）ぜひご参加ください。

【ご参加お申し込み方法】

下記の申し込みフォームから、7/31（土）までに必要事項を記載の上申し込みをしてください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S30137440/>

- ・ 参加申し込み手続き後に、受付完了メールが送られます。もしメールが届かない場合は、お問い合わせ先である hoiku@shotoku.ac.jp までご連絡ください。
- ・ 準備の都合上、締切期日を過ぎたお申し込みはお受けできないこともございます。
- ・ 各講座定員に達しましたら、締切期日前でもお申し込みを締め切らせていただきます。
- ・ できるだけ多くの施設からご参加いただけるよう、お申し込み人数が多い講座につきましては、同じ施設からのご参加人数を制限させていただく場合がございます。
- ・ 各講座開催日の10日前を目途に、再度メールにて詳細をご連絡いたします。
- ・ 当日は受付完了メールを印刷したものか、携帯電話等の画面を会場でご提示ください。
- ・ 社会情勢によっては、対面での講座は中止となる場合がございます。

【お問い合わせ先】

岐阜保育研究大会 保育者のための実践講座（担当：木戸） hoiku@shotoku.ac.jp



岐阜保育研究会「保育者のための実践講座」第21回大会」に関するお問い合わせ先

に関するお問い合わせ先

岐阜聖徳学園大学短期大学部 幼児教育学科

tel: 058-278-0711（岐阜キャンパス代表）

e-mail: hoiku@shotoku.ac.jp



「岐阜保育研究会第21回大会」

例年、保育現場でご活躍の先生方、地域で子育てをされている保護者とお子さんたちにご参加いただいている岐阜保育研究会大会を、本年も開催いたします。

地域の保育や子育てを考える機会として、また、地域の親子の方々に楽しんでいただくイベントとして、「保育フォーラム」「保育者のための実践講座（通年開催のうちの数講座を開催）」のほか、幼児教育学科の学生を中心に運営する親子向けイベント「あそびひろば」などをオンライン（実践講座のみ一部対面）で開催を予定しております。

日程は、下記を予定しております。

- 日時 2021年11月27日（土）
10:00～16:30
- 会場 岐阜聖徳学園大学 岐阜キャンパス
（岐阜市中鶉 1-38）
オンライン開催

※プログラムの詳細、オンライン会場等へのアクセス方法などについては、後日、別途お知らせいたします。

令和3年度 保育者のための実践講座

番号	日時	時間	講座名	講座概要	担当	定員	会場	持ち物	備考
1	7/10 (土)	13:00～ 15:00	保育者のための ブラッシュアップ・ ピアノレッスン	日頃から現場でピアノなどの鍵盤楽器を弾いておられる保育者の方々から、ピアノのブラッシュアップをしたいと要望がありました。毎日がお忙しく、なかなか練習をする間もないまま何となく、ということに物足りなさを感じておられる先生は少なくないようです。けれど、レッスンを受けるとなると毎週毎月はちょっとしんどい、年に1回でもアドヴァイスを受けられたらいいな、というご希望から今回の講座を計画いたしました。レヴェル、経験年数等は全く関係ありません。勇気を出してご参加下さい。マンツーマン指導を行います。	阪田順子	8名	実技館2階 第1音楽室	ご希望曲の楽譜（なければ事前にご相談の上、こちらで用意いたします。）	対面で実施しますので、新型コロナウイルスの蔓延状況次第では中止になることがあります。
2	9/4 (土)	13:30～ 15:00	コロナ禍における子育て支援	コロナ禍において、感染拡大の恐れが極めて大きくなり、保育施設（幼稚園や保育園、認定こども園など）の保育や行事等は昨年来大きな制約を受けています。その中で保育者は、子どもたちの保育のみならず、子どもの保護者への子育て支援も工夫を重ねてこられました。この講座では、保育者のみなさまと在園児の保護者に対する子育て支援・保護者対応について意見交換し、この状況をポジティブにとらえる一助にしたいと思います。	徳広圭子	20名程度	オンライン開催	筆記用具	
3	9/25 (土)	10:00～ 11:30	保育現場におけるICTの活用	保育・幼児教育の場面でも情報機器（パソコンやデジカメ、タブレット）を利用する機会が増えてきました。どんな場面で利用が可能か、導入にどんな準備が必要か、ディスカッションを通じて考えてみたいと思います。	糟谷咲子	20名程度	オンライン開催	筆記用具	
4	10/9 (土)	10:00～ 11:30	子どもの遊びを 5領域から捉え直そう	本講座では、保育者が子どもの生活を通して総合的な指導を行う際の視点であり、子どもの関わる環境を構成する場合の視点でもある、5領域に関するワークを行います。子どもの遊びを、5領域のねらいや内容に基づいて分析することで、自身の保育の基本的な視点を確認するとともに、ディスカッションを通じて、他者の保育の視点と比較検討することで、より客観的に自身の保育の視点を見つめ直していく機会になればと思っています。	安部日珠沙	20名	オンライン開催	筆記用具	
5	10/23 (土)	10:00～ 11:30	適切な養育について考える- 脳科学の視点から-	不適切な大人の関わりによって子どものこころが傷つくことは皆さんも想像できると思います。こころは確かに傷つくのですが、その「こころ」とはどこにあるのでしょうか。実際には「脳」にその傷ついた痕跡が残ると言われています。脳科学者である友田明美先生の著作を紹介しながら、得られた知識を保育現場に還元するために必要な予防や対応を一緒に考えていきたいと思います。	大西薫	20名程度	岐阜キャンパス231教室	筆記用具	対面で実施しますので、新型コロナウイルスの蔓延状況次第では中止になることがあります。
6	10/23 (土)	10:00～ 11:30	子どもの多様な動きを 引き出す運動遊びの工夫	幼児期は、神経系の発達が著しい時期です。そのため、この時期の子どもたちには、様々な遊びを通して多くの動きを経験させることが必要となります。本講座では、保育の現場で一般的な運動遊びアイテムであるボールやフープ、さらには新聞紙などの身近にあるものを用いて子どもの多様な動きを引き出す運動遊びを、みなさんとともに実践したいと思います。	内藤譲	20名程度	岐阜キャンパス体育館	動きやすい服装、体育館シューズ	運動遊びは、年中児、年長児の年代を対象とした内容です。対面で実施しますので、新型コロナウイルスの蔓延状況次第では中止になることがあります。
7			保育者のための ブラッシュアップ・ ピアノレッスン	日頃から現場でピアノなどの鍵盤楽器を弾いておられる保育者の方々から、ピアノのブラッシュアップをしたいと要望がありました。毎日がお忙しく、なかなか練習をする間もないまま何となく、ということに物足りなさを感じておられる先生は少なくないようです。けれど、レッスンを受けるとなると毎週毎月はちょっとしんどい、年に1回でもアドヴァイスを受けられたらいいな、というご希望から今回の講座を計画いたしました。レヴェル、経験年数等は全く関係ありません。勇気を出してご参加下さい。マンツーマン指導を行います。	阪田順子	8名	実技館2階 第1音楽室	ご希望曲の楽譜（なければ事前にご相談の上、こちらで用意いたします。）	対面で実施しますので、新型コロナウイルスの蔓延状況次第では中止になることがあります。
8	11/27 (土) 「保育研究会 第21回大会」中に 開催いたします。	10:00～ 11:30	社会的養護における子どもの 権利擁護	社会的養護の下で暮らす子どもたちは入所前にどのような生活を送ってきたのでしょうか。現在、児童福祉施設では子どもの生い立ちを整理する取り組みが始まっていると思います。本講座では、生い立ちの整理に関する事例をもとに、取り組みの中で浮き彫りとなった課題をふまえ、準備から実践までより良い方法を考えていく時間にできればと思います。	藤田哲也	10名程度	オンライン開催		グループでのディスカッションも行います。生い立ちの整理に関する事例（施設内で取り組んでいて難しいところなど）を事前に連絡ください。また、これから始めたい施設職員の方も参加可能です。その場合はその旨を連絡ください。社会的養護関係施設に勤務する現場職員の方の参加とさせていただきます。（連絡先：tetsuya.fujita@gifu.shotoku.ac.jp）
9			持続可能な未来に向けて 保育を考える	今なぜ「SDGs」や「持続可能な社会」が話題となっているのでしょうか。ユネスコをはじめとした国際的な流れを押さえながら、持続可能な未来に向けた保育の在り方について考えます。当日は、ドイツの森の幼稚園の事例なども紹介する予定です。グループディスカッションなども取り入れながら、参加者のみなさんとの議論を楽しみたいと思っております。	木戸啓絵	10名程度	オンライン開催	筆記用具	